

加盟店舗から観た
現状のKBAがかかえている
問題と解決へのアプローチ

【KBA】

神奈川県ビリヤード協会

協会の事 本当はどう思っているの？

KBA加盟店舗（理事以外）から見て

ご
意
見

①関心が無い

②キャロムの団体だと思っている

③協会所属でしか参加できないキャロムの大会に出場する事しか目的としてない

④NBAや関東支部と区別がつかずひとまとめでKBAに対して不信感をもっている

⑤ボランティアでは働きたくない

①関心が無い問題に関して

- SNS、Webの更新頻度をアップすることで興味を持ってもらうことが必要
- 企画書が増えれば、自然とイベントが増えるのでコンテンツのアップは可能と思われる。

② キャロムの団体だと思っている問題に関して

現状の絵

理事長

- ・安藤敏浩（店舗オーナー、3C）

事務局

- ・石井健一（事務、店舗オーナー、3C）
- ・田口正男（会計、正会員、3C）
- ・杉万志寿枝（事務、正会員、3C、P）

理事

- ・片岡紳（店舗オーナー、3C）
- ・園山亮（KPBA、P）
- ・板橋克典（司法書士、行政書士、3C）
- ・崎村秀章（店舗オーナー、P、3C）

会計監査

- ・上村牧子（P）

未来の絵

- ・P（ポケット）の大会を増やすためには、組織構成を見直し、理事、正会員を増やすことが必要と考える

理事

- ・A（店舗オーナー、P）
- ・B（店舗オーナー、P）
- ・C（正会員、P）
- ・D（正会員、P）

③協会所属でしか参加できないキャロムの大会に出場する事しか目的としてない問題に関して

- NBA、NBA関東支部の配信したコンテンツをKBAでもシェアして配信することで情報の提供を行う。
- キャロム大会を増やすことで協会加盟の満足度を増やす
=>現状、関東支部と交渉中

④NBAや関東支部と区別がつかずひとまとめで
KBAに対して不信感をもっている問題に関して

- KBAは粛々と業務改善して少しずつ不信感を払拭する
- 広報を充実させることにより風通しの良い組織づくりを目指し組織の体系や活動ななど中身を理解してもらえるように努力する。

⑤ ボランティアでは働きたくない問題に関して

- そもそも、今のご時世では当たり前の話。ビリヤード業界の方がおかしいが現状ではどこの協会支部もできていない
- 企画書にて、働く人（正会員、ボランティア）に対して予め予算取りを行い計画を立てる
- KBA主催の公式戦を増やす事により収入アップを目指し働く人へ還元するサイクルをつくる